

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 7年11月 6日
14時16分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	003 7観光・交流			
施策の取組	005 さらなる交流の促進			
事務事業	001 アンフォーレ施設管理事業			
事業期間	平成29年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例			
備考				

【事業分析】

対象	施設利用者が
目的	快適な環境で施設を利用できるようになります。
手段	施設警備・設備点検・清掃等の維持管理、建築設備器具修繕等を実施します。
事務内容	光熱水費支払い、建築設備器具修繕、PFI事業者への施設維持管理業務委託等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	127,881	146,667	136,031
国庫支出金	121,281	139,967	129,031
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,113	2,378	2,027
一般財源	118,168	137,589	127,004
人件費計	6,600	6,700	7,000
正規(人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	アンフォーレ設備維持管理委託、施設保守管理委託等	アンフォーレ設備維持管理委託、施設保守管理委託等	アンフォーレ設備維持管理委託、施設保守管理委託等

事務事業評価シート（2/2）

2 頁
令和 7年11月 6日
14時16分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00 1,085,625.00	0.00 1,142,224.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入館者数の実績等を踏まえ、十分なニーズがあると考えます。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る進捗です。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PFI事業による維持管理計画を都度適正に見直しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模にあった事業管理を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (4 0 0 文字)	アンフォーレは平成29年6月にオープンし、令和7年2月にはアンフォーレ本館来館者数800万人を達成しました。令和6年度も市民の交流の場として積極的に活用された結果、目標以上の来館者数となりました。引き続き、利用者の皆さまが快適に施設を利用できるよう関係法令を遵守しながら、適切な維持管理・施設運営に努めています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和7年11月6日
14時16分16秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	003 7観光・交流			
施策の取組	005 さらなる交流の促進			
事務事業	002 まちなか賑わい創出事業			
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・中心市街地拠点施設活用促進事業・南吉まちづくり推進事業			
備考				

【事業分析】

対象	安城市民及び市外住民が
目的	アンフォーレを有効活用し、多くの来館が生まれることで、まちなかの交流・賑わいが創出されるようになります。
手段	ホール等の交流多目的スペースを活用したイベント業務やイベントを実施する市民団体等のコーディネート業務等を行う指定管理事業、アンフォーレのPR、新美南吉等の地域資源を活用した回遊促進事業等を実施します。
事務内容	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、映像コンテンツ運用保守等

【コスト】

	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	(単位:千円)	
			令和7年度 予算額	
トータルコスト				
事業費	67,214	142,270	70,177	
国庫支出金	57,314	132,220	59,677	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	57,314	132,220	59,677	
人件費計	9,900	10,050	10,500	
正規(人)	1.50	1.50	1.50	
その他経費	0	0	0	

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、映像コンテンツ運用保守等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、映像コンテンツ運用保守等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、映像コンテンツ運用保守等

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 6日
14時16分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
交流多目的スペースの稼働率	%	60.00 61.50	0.00 65.70	60.00 0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	1,000,000.00 1,085,625.00	0.00 1,142,224.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	市議会、地域商店街等からの施設有効利用の要望があります。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	目標を上回る進捗です。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	指定管理者制度を活用し、事業の効率化を図っています。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	施設規模に見合った事業実施を図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400 文字)	アンフォーレは平成29年6月にオープンし、令和7年2月にはアンフォーレ本館来館者数800万人を達成しました。令和6年度も市民の交流の場として積極的に活用された結果、目標以上の来館者数となりました。引き続き、指定管理者によりまちなかへの回遊性が図られるイベントを実施し、まちなかの交流や賑わいを創出する事業展開を図っていきます。
2次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和7年9月21日
17時07分33秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係

事務事業 02577 図書情報館ICT活用事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	007 11生涯学習			
施策の取組	005 図書館サービスの拡充			
事務事業	001 図書情報館ICT活用事業			
事業期間	平成26年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	図書館法、文字・活字文化振興法、安城市図書館の設置及び管理に関する条例 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・図書情報館機能整備事業			
備考				

【事業分析】

対象	図書情報館利用者が
目的	必要な情報を得て知識を深めることができます。
手段	施設や機器を提供します。
事務内容	情報発信及び情報機器類の管理と利活用を行います。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	66,312	64,953	68,534
国庫支出金	56,412	54,903	58,034
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,209	1,214	1,122
一般財源	55,203	53,689	56,912
人件費計	9,900	10,050	10,500
正規(人)	1.50	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース 利用者用電子書籍等	図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース 利用者用電子書籍等	図書情報ネットワーク 保守委託 図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース 利用者用電子書籍等

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年9月21日
17時07分33秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館ICT活用事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自動貸出機利用率	%	85.00 84.34	0.00 84.92	85.00 0.00
施設利用日率	%	50.00 57.65	0.00 56.87	50.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
2	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由 他の公立図書館と比較しても、質の高いサービスを提供しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	目標指標については、未達成になっている指標もありますが、どちらの指標も安定した数値となっています。自動貸出機利用率の目標未達成は図書情報館ではなく、公民館図書室等での図書館資料貸出の増加が原因と思われます。利用者にデータベースなど公民館図書室等にはないサービスをより周知し、図書情報館へ来館してもらえるよう努めます。 また、施設利用日率の目標値などの数値は、複数の施設の合計値であり、スタジオなど目標を達成していない施設もあります。令和8年度の機器更新に合わせ、施設自体の内容（運営含む）を精査し、より良いサービスを利用者へ提供できるようにします。
2次コメント (400文字)	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

1 頁
令和 7年11月 6日
17時57分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	007 11生涯学習			
施策の取組	005 図書館サービスの拡充			
事務事業	002 図書情報館資料貸出事業			
事業期間	昭和24年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律、視覚障害者等の読書環境の整備の推進			
備考				

【事業分析】

対象	図書館を利用する市民が
目的	必要とする図書館資料の提供を受けられるようになります。
手段	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。
事務内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配達、図書館システムの使用（維持管理含む） 等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	116,743	118,063	118,622
国庫支出金	96,943	97,293	98,322
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	77	85	72
一般財源	96,866	97,208	98,250
人件費計	19,800	20,770	20,300
正規(人)	3.00	3.10	2.90
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間）図書配達業務（派遣）	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間）図書配達業務（派遣）	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 学校図書・公民館等・ 児童クラブ（夏休み期間）図書配達業務（派遣）

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月6日
17時57分16秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民1人あたりの図書年間貸出冊数	冊	10.50 9.94	0.00 9.84	10.00 0.00
図書館等の実利用者数（単年度）	人	28,500.00 28,005.00	0.00 27,642.00	28,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ	
3	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性	
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
1	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		理由	
	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	市民ニーズはない又は不明である			
2	年間貸出冊数は同規模自治体の中でも特に多くニーズがあります。		理由	
	目標に対する進捗状況	目標に対する進捗状況		
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である			
	目標を下回る進捗状況である			
1	進捗はかなり遅れている	有効性		
	目標値に近づくようサービスの提供に努めます。			
	事業の効率化・事業費の削減	事業の効率化・事業費の削減	効率性	
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている			
1	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
	図書配送に必要な時間数の見直しを行いました。		理由	
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準		
1	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
	他の公立図書館と比較して質の高いサービスの提供に努めています			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民1人あたりの図書年間貸出冊数、図書館等の実利用者数とともに目標を達成できませんでしたが、引き続き利用者のニーズに応じた蔵書の充実と、迅速な資料の提供、より魅力的なイベント等の実施に努めます。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
1次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 7年11月 6日
17時57分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	007 11生涯学習			
施策の取組	005 図書館サービスの拡充			
事務事業	003 読書活動推進事業			
事業期間	昭和24年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	より多くの市民が
目的	読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができるようになります。
手段	おはなし会やブックスタート事業などの充実により、市民が本に親しむ機会を提供します。
事務内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、安城版ブックスタート事業 等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	27,274	18,505	20,025
事業費	10,114	3,095	5,325
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,214	1,069	1,219
一般財源	8,900	2,026	4,106
人件費計	17,160	15,410	14,700
正規(人)	2.60	2.30	2.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 第3回安城市新美南吉 絵本大賞	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 手話付おはなし会	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催 手話付おはなし会

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 6日
17時57分16秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	人	3,000.00 3,678.00	0.00 4,226.00	3,500.00 0.00
ボランティア養成・支援講座の開催回数	回	15.00 20.00	0.00 20.00	15.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	各種おはなし会、ボランティア講座に毎回参加がありました。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	定期的な開催を行うとともに、新たな事業も開始できました。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	業務をより効率的に行うよう努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較して質の高いサービスに努めています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (4 0 0 文字)	図書情報館等でのおはなし会は、市民が本に親しむきっかけとなる大切な機会創出の場であり、その活動を支えるボランティアの養成・支援が欠かせません。引き続き事業の充実に努めます。
2次コメント (4 0 0 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。